

[事業所向け] 児童発達支援 自己評価表

事業所名：【 音の森おたる 】

実施日：2026年3月10日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2024年4月の移転により療育室の環境が向上しているため、今後も利用定員とスペースのバランスを適切に保ちながら、安全で活動しやすい環境づくりに努めております。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③ 療育空間は本児にわかりやすい 構造化 ※された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			2024年4月の移転により療育環境やバリアフリー化が向上しているため、今後も子どもにとってわかりやすい構造化された環境づくりを意識し、障がい特性に応じた設備や情報伝達の工夫を継続していきます。
	④ 事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の療育活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○		第三者による外部評価の導入を検討するとともに、評価結果を職員間で共有し、具体的な業務改善につなげていきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫ 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容の中から 保護者のニーズ や子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮ 活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をやるのか示せるように、タイルカーペットの色をわけていたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまがお子さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とします。

関係機関や保護者との連携	⑲	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に引き続き参加するとともに、必要に応じて子どもの状況に精通した職員が参画し、会議内容を職員間で共有しながら支援の質の向上につなげております。
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	○		
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当/非該当
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当/非該当
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉔	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との情報共有を計画的に行うため、保護者の意向を踏まえながら必要に応じて関係機関との連絡や情報交換を実施し、支援の一貫性と相互理解の向上を図っております。
	㉕	移行支援として小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援として、小学校や特別支援学校との情報共有を計画的に行うため、保護者の意向を踏まえながら関係機関との連絡や情報交換を適宜実施し、支援の一貫性と相互理解の向上を図っております。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか	○		オトフェス等の地域交流イベントを継続的に実施し、地域との関係構築を進めております。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		3ヶ月に1回開催される協議会や地域の子ども・子育て会議へ継続的に参加するとともに、得られた情報を職員間で共有し、支援の質の向上や関係機関連携の強化につなげております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者の対応力向上を図るため、保護者会や茶話会等の機会を活用し、家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)を計画的に実施するとともに、保護者のニーズに応じた内容の充実を図っていききたい。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉛	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び保護者のニーズが反映された支援内容に基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか	○		
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		11月8日に茶話会を開催しており、今後も保護者会や茶話会等を継続的に実施するとともに、保護者同士の情報共有や交流の機会を促進し、連携の強化につなげております。
	㉞	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉟	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		オトモリ通信を2か月に1回発行・配信しており、今後も活動概要や行事予定等の情報発信を継続するとともに、内容の充実を図り、保護者への分かりやすい情報提供につなげております。
	㊱	個人情報に十分注意しているか	○		
	㊲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○		
	㊳	事業所の行事(ワークショップ等)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		2025年度は6月にワークショップを実施しており、今後も地域住民を対象とした行事を継続的に開催するとともに、事業所の取り組みの発信や地域との交流促進につなげております。
非常時等の対応	㊴	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルに基づき内部研修を実施しており、今後も職員への周知徹底を図るとともに、必要に応じて保護者への情報提供を行い、安全対策の強化につなげております。
	㊵	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		6月に火災、9月に地震の避難訓練を実施しており、今後も定期的に各種災害を想定した訓練を継続するとともに、実施後の振り返りを行い、安全対策の強化につなげております。
	㊶	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	㊹	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○		虐待防止委員会を設置し研修を実施しており、今後も職員への周知徹底と研修機会の確保を継続し、虐待防止への意識向上と適切な支援の提供につなげております。
	㊺	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○		

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026/3/31

事業所名：児童発達支援 音の森おたる

対象人数（保護者）15人 回答者数6人 回収 40%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。（基準人員：児童10人に対し職員2名+加配職員2名）	5			1		新年度より職員数を増やし、より充実した療育のご提供を致します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1				今後、さらに保護者の皆さまと密にコミュニケーションを取り、より制度の高い療育を目標に行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラム(音の森ホームページ掲載)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1				今後も音楽に特化した療育の制度を上げてまいります。さらにニーズに合わせ、柔軟な対応ができるよう努力してまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1				さらなる精度向上に職員一同努力してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 音楽療育プログラムが一定のルーティンを保ちながらも、子どもの発達段階や特性に応じて柔軟に構成されていると感じますか。	6					
	11 お子さまにとって必要な場合に、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5			1		2月にオトフェス（札幌）へ参加しており、今後も他施設との交流機会を検討するとともに、次年度にはこども職場体験イベント（札幌）への参加を予定し、地域の子どもの関わりを通じた経験の充実につなげております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		2		家族に対して研修会や情報提供の機会を設けるとともに、今後は他施設との交流機会の創出も検討し、家族支援の充実につなげてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、保護者のニーズに応じた面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 父母の会の活動の支援や、茶話会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	4	1		1		毎年、茶話会を開催しておりますが、皆さんに参加しやすい日程等を検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			1		保護者の皆さまからのご意見をできる限り反映できるよう努力してまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1				HUGや公式LINE等を駆使してさらにわかりやすい配信を目指してまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1				通信にて定期的に情報配信をさせていただいておりますが、さらに配信ツールの拡大を検討してまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		2		万が一に備え、職員一同、定期的に研修・訓練を実施しております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			2		毎年2回災害訓練を実施し、通信にて公表させていただいております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			2		事故発生時の対応についてわかりやすくお知らせするとともに、連絡基準（事故・発熱等）を明確にし、迅速かつ丁寧な連絡と説明を行うことで、保護者に安心していただける対応に努めております。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				平日に、「今日は音の森さんと保育所の日だよ」と伝えると、「今日は〇〇先生かな？」とお迎えに来て下さる先生を予想しています。	ありがとうございます。職員一同今後の励みになります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	6					

〔事業所向け〕 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：【 音の森おたる 】

実施日：2026年3月10日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2024年4月の移転により療育室の環境が向上しているため、今後も利用定員とスペースのバランスを適切に保ちながら、安全で活動しやすい環境づくりに努めております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	○			
	③	療育空間は本児にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	○			2024年4月の移転により療育環境やバリアフリー化が向上しているため、今後も子どもにとってわかりやすい構造化された環境づくりを意識し、障がい特性に応じた設備や情報伝達の工夫を継続していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	○			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価の導入を検討するとともに、評価結果を職員間で共有し、具体的な業務改善につなげていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			土曜日療育の実施や長期休暇中の縁日体験等を取り入れ、平日・休日・長期休暇に応じた支援を行っており、今後も子どもの状況や特性に応じた課題設定を行い、きめ細やかな支援につなげております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に引き続き参加するとともに、必要に応じて子どもの状況に精通した職員が参画し、会議内容を職員間で共有しながら支援の質の向上につなげております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時に学校での様子を確認し情報交換を行っており、今後も継続して情報共有を行うとともに、必要に応じて連絡調整を行い、より円滑な支援体制の構築につなげております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、 保護者のニーズがあった場合 、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか	○		オトフェス等の地域交流イベントを継続的に実施し、地域との関係構築を進めていきたい。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		3ヶ月に1回開催される協議会や地域の子ども・子育て会議へ継続的に参加するとともに、得られた情報を職員間で共有し、支援の質の向上や関係機関連携の強化につなげております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者の対応力向上を図るため、保護者会や茶話会等の機会を活用し、家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)を計画的に実施するとともに、保護者のニーズに応じた内容の充実を図ってまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		11月8日に茶話会を開催しており、今後も保護者会や茶話会等を継続的に実施するとともに、保護者同士の情報共有や交流の機会を促進し、連携の強化につなげております。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		オトモリ通信を2か月に1回発行・配信しており、今後も活動概要や行事予定等の情報発信を継続するとともに、内容の充実を図り、保護者への分かりやすい情報提供につなげております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルに基づき内部研修を実施しており、今後も職員への周知徹底を図るとともに、必要に応じて保護者への情報提供を行い、安全対策の強化につなげております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		6月に火災、9月に地震の避難訓練を実施しており、今後も定期的に各種災害を想定した訓練を継続するとともに、実施後の振り返りを行い、安全対策の強化につなげております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○		虐待防止委員会を設置し研修を実施しており、今後も職員への周知徹底と研修機会の確保を継続し、虐待防止への意識向上と適切な支援の提供につなげております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、 保護者の要望に応じて 医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026/3/31

事業所名：放課後等デイサービス 音の森おたる

対象人数（保護者）25人 回答者数 14人 回収 56%

	チェック項目	ご意見					ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。（基準人員：児童10人に対し職員2名+加配職員2名）	14					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				ものすごく適切な対応で、感謝しかありません！子供の成長の助けにかなりなっています。	ありがとうございます。職員一同今後の励みになります。少しでもお子様の成長にお役に立てれば幸いです。
	6 事業所が公表している支援プログラム(音の森ホームページ掲載)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				ものすごく考えていただき、分かりやすく、そしてあたたかみのある計画です。	ありがとうございます。職員一同今後の励みになります。今後より良い療育を目指し計画してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				今後も各ご家庭に寄り添った支援を心がけ努力してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 音楽療育プログラムが一定のルーティンを保ちながらも、子どもの発達段階や特性に応じて柔軟に構成されていると感じますか。	14					
	11 お子さまにとって必要な場合に、放課後児童クラブや児童館、地域のこどもと交流する機会がありますか。	8	2	2	2		2月にオトフェス（札幌）へ参加しており、今後も他施設との交流機会を検討するとともに、次年度にはこども職場体験イベント（札幌）への参加を予定し、地域の子どものとの関わりを通じた経験の充実につなげております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13			1		今後は他施設との交流も検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、茶話会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	12	1		1		毎年、茶話会を開催しておりますが、皆さんに参加しやすい日程等を検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			1		万が一に備え、職員一同、定期的に研修・訓練を実施しております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2		毎年2回災害訓練を実施し、HUG及び通信にて公表させていただいております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				すごく楽しみにしており、帰って来ても楽しかったと言っています。	ありがとうございます。職員一同今後の励みになります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	14					